

研究部門 海洋研究開発機構理事長賞

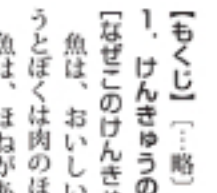


自由研究 たべるぞー！お魚のしんじき
東京都筑波大学附属小学校2年 松嶋 光永

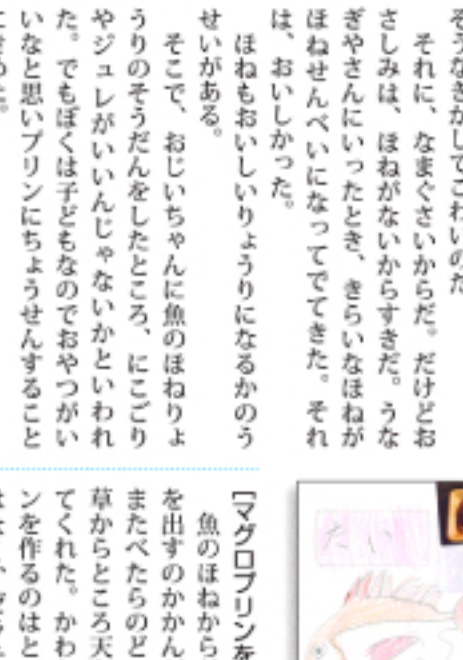


家族を巻き込んで、楽しみながら研究を進めていく勢いがある作品。子どもらしい発想だけでなく、熟慮も感じられました。

研究部門 日本水産学会会長賞



研究部門 ヨシノボリのひみつにせまる
兵庫県西宮市立原川小学校3年 三宅 克典



色づかいや構成が素晴らしい。吸盤の比較方法が面白く、読み手を引き込む工夫が散りばめられていました。

研究部門 朝日新聞社賞



研究部門 ほくとナキオカヤドカリ
大阪府大田教育大学附属全寺小学校5年 善明 宗一郎



継続した研究で、だんだんとステップアップしていく様子が見えます。粘り強く、新たな疑問点を追究していく姿勢は立派です。

研究部門 朝日新聞社賞



研究部門 おじいちゃんのおじいちゃん
明知県土佐市立新屋小学校3年 明神 実果子

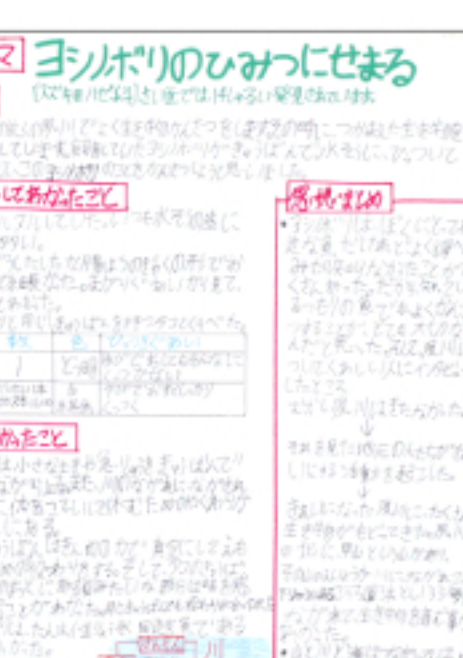


飾らない言葉で描けない家庭の一面が描かれています。日をおいても印象が薄れない、優れた文章です。

研究部門 日本水産学会会長賞

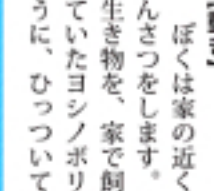


研究部門 おじいちゃんのおじいちゃん
明知県土佐市立新屋小学校3年 明神 実果子



飾らない言葉で描けない家庭の一面が描かれています。日をおいても印象が薄れない、優れた文章です。

研究部門 朝日新聞社賞



研究部門 ほくとナキオカヤドカリ
大阪府大田教育大学附属全寺小学校5年 善明 宗一郎

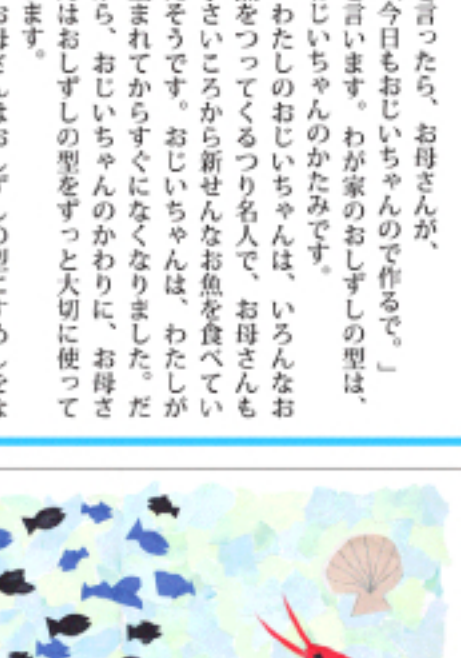


継続した研究で、だんだんとステップアップしていく様子が見えます。粘り強く、新たな疑問点を追究していく姿勢は立派です。

研究部門 朝日新聞社賞



研究部門 おじいちゃんのおじいちゃん
明知県土佐市立新屋小学校3年 明神 実果子

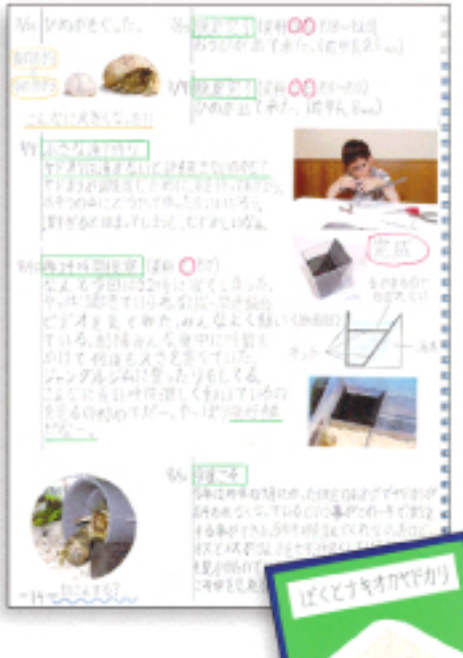


飾らない言葉で描けない家庭の一面が描かれています。日をおいても印象が薄れない、優れた文章です。

研究部門 朝日新聞社賞



研究部門 おじいちゃんのおじいちゃん
明知県土佐市立新屋小学校3年 明神 実果子



飾らない言葉で描けない家庭の一面が描かれています。日をおいても印象が薄れない、優れた文章です。

研究部門 朝日新聞社賞



研究部門 ほくとナキオカヤドカリ
大阪府大田教育大学附属全寺小学校5年 善明 宗一郎



継続した研究で、だんだんとステップアップしていく様子が見えます。粘り強く、新たな疑問点を追究していく姿勢は立派です。

研究部門 朝日新聞社賞



研究部門 おじいちゃんのおじいちゃん
明知県土佐市立新屋小学校3年 明神 実果子

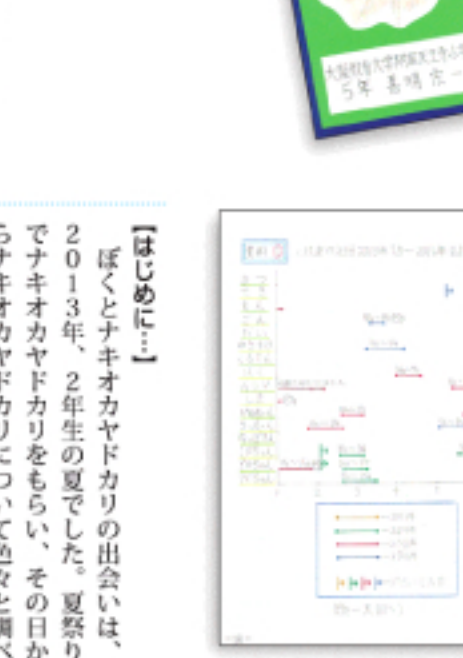


飾らない言葉で描けない家庭の一面が描かれています。日をおいても印象が薄れない、優れた文章です。

研究部門 朝日新聞社賞

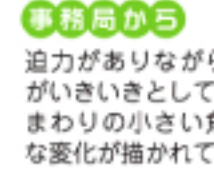


研究部門 おじいちゃんのおじいちゃん
明知県土佐市立新屋小学校3年 明神 実果子

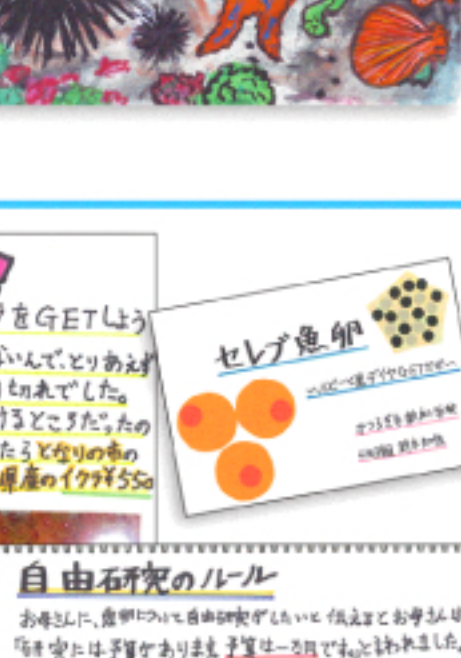


飾らない言葉で描けない家庭の一面が描かれています。日をおいても印象が薄れない、優れた文章です。

研究部門 朝日新聞社賞

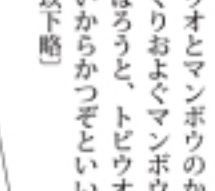


研究部門 ほくとナキオカヤドカリ
大阪府大田教育大学附属全寺小学校5年 善明 宗一郎

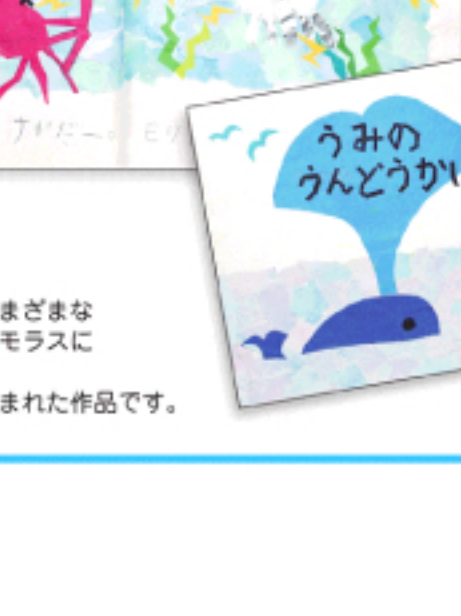


継続した研究で、だんだんとステップアップしていく様子が見えます。粘り強く、新たな疑問点を追究していく姿勢は立派です。

研究部門 朝日新聞社賞

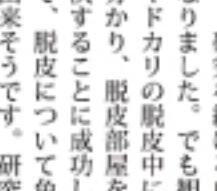


研究部門 おじいちゃんのおじいちゃん
明知県土佐市立新屋小学校3年 明神 実果子

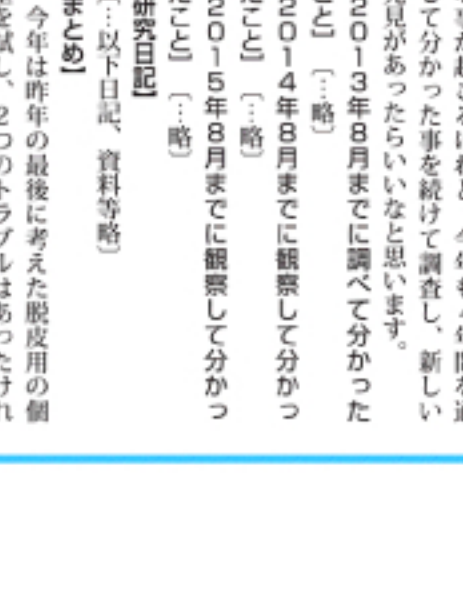


飾らない言葉で描けない家庭の一面が描かれています。日をおいても印象が薄れない、優れた文章です。

研究部門 朝日新聞社賞



研究部門 おじいちゃんのおじいちゃん
明知県土佐市立新屋小学校3年 明神 実果子

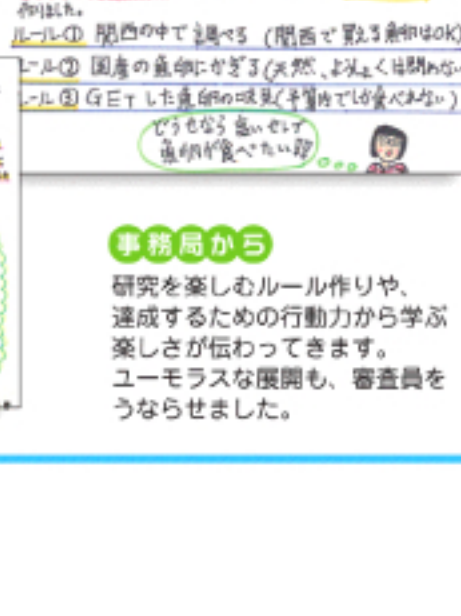


飾らない言葉で描けない家庭の一面が描かれています。日をおいても印象が薄れない、優れた文章です。

研究部門 朝日新聞社賞



研究部門 ほくとナキオカヤドカリ
大阪府大田教育大学附属全寺小学校5年 善明 宗一郎



継続した研究で、だんだんとステップアップしていく様子が見えます。粘り強く、新たな疑問点を追究していく姿勢は立派です。

研究部門 水産研究・教育機構理事賞
自由研究 キヨギョ!!
メダカの新体カテスト
奈良県香取女子大学附属小学校4年 中村 一葉

研究部門 自由研究
メダカの新体カテスト
私の家のメダカは、5種類いて、約80匹います。メダカは、40種類あります。メダカは、1999年、アメリカカリフォルニア州から、うつあげられた、コンブレリヤ科、日本人初女性宇宙飛行士向井千秋さんと、宇宙へ行った4匹のメダカ、宇宙へ、交配、産卵、孵化し、孵ったメダカは、32匹です。32匹のメダカは、メダカの新体カテストです。

研究部門 自由研究
泳ぎ名人・魚の体大調査！
速さの秘密に迫る
千葉県印西市立原小学校5年 内田 百葉

研究部門 自由研究
泳ぎ名人・魚の体大調査！
速さの秘密に迫る
千葉県印西市立原小学校5年 内田 百葉

研究部門 自由研究
泳ぎ名人・魚の体大調査！
速さの秘密に迫る
千葉県印西市立原小学校5年 内田 百葉

研究部門 自由研究
泳ぎ名人・魚の体大調査！
速さの秘密に迫る
千葉県印西市立原小学校5年 内田 百葉

研究部門 自由研究
泳ぎ名人・魚の体大調査！
速さの秘密に迫る
千葉県印西市立原小学校5年 内田 百葉

研究部門 自由研究
泳ぎ名人・魚の体大調査！
速さの秘密に迫る
千葉県印西市立原小学校5年 内田 百葉

研究部門 自由研究
泳ぎ名人・魚の体大調査！
速さの秘密に迫る
千葉県印西市立原小学校5年 内田 百葉

研究部門 自由研究
泳ぎ名人・魚の体大調査！
速さの秘密に迫る
千葉県印西市立原小学校5年 内田 百葉

研究部門 自由研究
泳ぎ名人・魚の体大調査！
速さの秘密に迫る
千葉県印西市立原小学校5年 内田 百葉

研究部門 自由研究
泳ぎ名人・魚の体大調査！
速さの秘密に迫る
千葉県印西市立原小学校5年 内田 百葉

研究部門 自由研究
泳ぎ名人・魚の体大調査！
速さの秘密に迫る
千葉県印西市立原小学校5年 内田 百葉

研究部門 自由研究
泳ぎ名人・魚の体大調査！
速さの秘密に迫る
千葉県印西市立原小学校5年 内田 百葉

研究部門 自由研究
泳ぎ名人・魚の体大調査！
速さの秘密に迫る
千葉県印西市立原小学校5年 内田 百葉

研究部門 自由研究
泳ぎ名人・魚の体大調査！
速さの秘密に迫る
千葉県印西市立原小学校5年 内田 百葉

研究部門 自由研究
泳ぎ名人・魚の体大調査！
速さの秘密に迫る
千葉県印西市立原小学校5年 内田 百葉

事務局から

実際の漁業の風景が思いおこされる力強い作品です。マグロの重さまでが伝わってきます。



絵画 イタリア ローマ日本人学校 6年 平井 竜胆

特別部門 海外作品特別賞



4年 吉村 藍香



2年 吉村 和香奈

水産王国新聞

愛媛県 フィッシュシニスターズ(宇和島市立明倫小学校)

壁新聞部門 グループ作品最優秀賞

事務局から

実際の体験が、新聞づくりにいきています。地元への愛情、読者に知ってほしいことがしっかりととまもられています。

最終審査会の先生方より



坂本 和弘 (多摩動物公園 副園長) インターネットが引いたところは、調べただけで完結している作品が多くありましたが、今年は調べたうえで話を聞きに行ったりとか、調べ学習が深まっている様子が見られました。新しい子どもたちのチャレンジも嬉しく思います。



竹葉 有記 (農林水産省 水産庁増殖推進部 研究指導課長) 小学生の創造性豊かな作品にふれられて嬉しく思います。昨年はじめての審査で圧倒されましたが、今年はじっくりと向き合うことができました。一生懸命がんばったことが伝わってくる作品が多くありました。



山中 謙司 (文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程調査官-学力調査官) 子どもたちの様子や家族の支援を思い浮かべながら審査することができました。自分の考えがしっかりととまもられていること、調べるきっかけとなった動機がしっかりと書かれている作品が増えてきたように思います。



佐藤 孝子 (海洋研究開発機構 地球情報研究センター 技術副主幹) 子どもたちの素直な気持ち、ユーモラスな発想に圧倒されてきました。3.11のすぐ直後には出てこなかった種類の作品が、時間を経て出てくるようになった印象。子どもたちの今の海との関わりが感じられました。



檜山 義明 (水産研究・教育機構 研究推進部長) 今回はじめて審査に参加させていただきました。審査はとても頼みましたが、自分の感性を信じて選ぶことができました。時間がたっても印象が薄れない、素晴らしい作品に出あうことができました。



神保 充 (日本水産学会・北里大学 海洋生命科学部 准教授) 作品づくりへの最初の動機が小さくても、どんどん大きく発展していく子どもたちの発想が面白く、楽しく審査をさせていただきました。その探究心や想像力に圧倒させられました。



森田 和良 (筑波大学附属小学校 副校長) 試行錯誤をかなりしてきたことが作品に表れています。問題解決のプロセスをふんだんに盛り込んでいた作品が増えました。「観察図」では、以前は緻密さが際立つ作品が多かったのですが、文字が多くなってきていて、もったいない印象を受けました。



飛田 浩昭 (青山学院初等部 教諭) 「自由研究・作品コンクール」と銘打っている以上、この分野が充実していれば、コンクールの意義があります。親子の会話や地域の方たちとの会話など、リレーションが増えていくことがコンクールの副産物ではないでしょうか。



根本 喜一 (日本水産株式会社 経営企画部長) 審査は、悩ましくも楽しい時間です。毎回気持ちが洗われます。今年選ばれた作品が来年にどう影響するのか、責任を感じますが審査員のみならず皆さんの意見をいただきながら良い作品を選ぶことができました。



村山 知博 (朝日新聞社 科学医療部長) 子どもたちの好奇心、表現力、発想に驚きました。ただ調べるだけでなく、現場に出かけてしっかり取材する姿勢は新聞記者にも通じます。作品から学ぶことも多く、審査をしながら勉強になりました。



高木 文哉 (朝日小学生新聞社 取締役管理担当兼総務部長) 日本の全小学生のうち、200人に1人がこのコンクールに応募してくれています。毎年、子どもらしい作品に出会えることを楽しみに審査を行います。どれも甲乙つけがたく、今年も大いに頼みました。

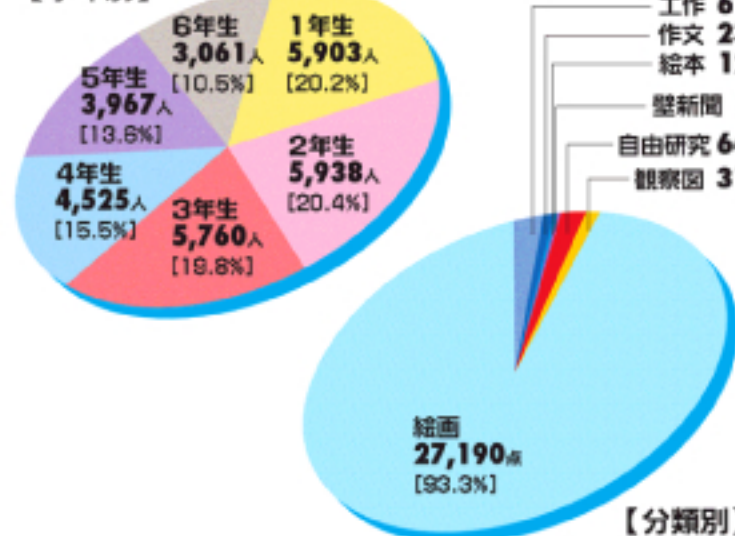
学校・団体協力賞

- 山梨県/富士河口湖町立船津小学校
静岡県/袋井市立浅羽南小学校
愛知県/東海市立富木島小学校
豊川市立小坂井東小学校
扶桑町立扶桑東小学校
大阪府/大阪教育大学附属天王寺小学校
大阪市立大淀小学校
大阪市立塚本小学校
大阪市立常盤小学校
大阪市立豊里小学校
大阪市立堀江小学校
大阪狭山市立南第三小学校
貝塚市立東小学校
河内長野市立美加の台小学校
岸和田市立東光小学校
富田林市立富田林小学校
八尾市立大正小学校
和歌山県/御坊市立湯川小学校
岡山県/岡山市立福浜小学校
広島県/広島大学附属東雲小学校
広島市立伴南小学校
福山市立蔵王小学校
福山市立手城小学校
福山市立御幸小学校
福山市立東小学校
府中町立府中東小学校
徳島県/藍住町立藍住南小学校
美波町立日和佐小学校
長崎県/雲仙市立千々石第一小学校
宮崎県/延岡市立伊形小学校
沖縄県/那覇市立真地小学校
日本国外/シドニー日本人学校
香港日本人学校小学部香港校

【応募作品の特徴】

昨年はサメに関する作品が多く見られましたが、今年は一つのテーマに偏ることがなく、築地市場にからめた作品、震災復興や食育に関するものなど、各部門様々なテーマが見られました。例年、ダイオウイカやクマノミ等メディアで話題になった生き物が多いのですが今年はそういった傾向はなく、テーマが分散したのが大きな特徴です。また、今年は絵画・工作部門において海外から応募された作品の中に素晴らしいものが多く、全体的にレベルが高い印象がありました。

【学年別】



【分類別】

※海岸にいる生物には漁業種が設定されている場合があります。採集をするときには必ず管轄の漁業協同組合にたずねましょう。

【応募状況(人数)】

Table with columns for Prefecture/City and Number of Applicants. Total: 29,154 people.

作品数合計 29,130 点

応募作品数は29,130点と、昨年を606点下回りました。「絵本」「工作」「作文」は応募数が伸びたものの、それ以外の分野では応募減となりました。



【各部門の特徴】

研究部門 ◆観察図
● 例年と同じく人気のテーマはスルメイカやトビウオですが、今年はアワビやヨシノボリ、マガコヤツノオトシゴなどバラエティーに富んだテーマがそろいました。
● スーパーで見かけた魚や母親が買ってきた魚など、身近なところから海の生き物に興味を持ち、実際に手元で観察しながら作品を仕上げているものが多く、解剖した後においしく調理して食べるまで行う作品が増えました。
◆自由研究
● 今回は身近な魚について研究した作品から、環境問題を視野に入れたもの、市場を研究のテーマに選んだものまで多種多様な作品の応募がありました。
● 優秀な作品では、数年に渡って粘り強く研究を続けたものや、自分なりの研究結果を導き出したもの、フィールドワークを中心に研究したものなど、読み応えのある充実した作品がありました。
● また、魚の骨からプリンを作ったり、「お魚GRO」としてゲーム感覚で研究を進めたり、魚の泳ぎ方を研究することで、人の泳ぎ方が速くなるヒントを得たりなど、子どもらしい発想のユニークな研究も見られました。

制作部門 ◆作文
● 今年も夏休みの家族旅行や祖父母、親戚宅での体験をつづった作品が多く見られました。また例年通り魚の調理に関する作文や環境問題というテーマもありました。
● 実体験をつづった作品がほとんどでファンタジーやメルヘン的な作品は前年度に比べて少なくなりました。
◆工作
● 今年の工作は箱の中に海の情景を再現したジオラマ的な作品が多かったです。
● モーターやLEDライトを使った電子工作のような作品や、独自の創作ゲーム等、遊ぶことを前提に作られた創意工夫に満ちた作品も多く見られました。
● 環境問題や震災復興を意図した作品等もあり、ただ作るだけでなく、伝えたいことを工作で表現している作品が増えたように感じます。
◆絵画
● 今年の絵画は漁船や釣り網、市場の風景や釣りなど、ただ魚の群れを描くだけではなく、魚と人との関係を描いた作品が多くありました。

海外から応募された作品のレベルも高く、外国の情景を見事に描いたものや異国情緒あふれる文化を描いたもの等、海外ならではの感性を秘めた作品が多かったです。
● 昨年同様、リュウグウノツカイやチョウチンアンコウといった深海生物をテーマにした作品も多く、今でも深海という未知の世界は子どもたちの想像力をかき立てているようです。
◆絵本
● 今回の絵本部門はファンタジーやメルヘン調のものだけではなく、「3枚おろしのやり方」のような実験的なものが出てくるなど変化がありました。
● 絵本は全体的に応募数が少なく、ストーリーが良くても絵が描けていなかったり、その逆のパターンもありました。夢のある部門なのでもっと応募数が増えることを期待しています。
壁新聞部門
● 昨年よりも内容が濃いものが増え、海外からの応募作品もありました。
● グループワークになるので、それぞれの意見やテーマがあり、それを1枚にまとめあげた面白い作品が増えた印象です。
● 新設されて間もない部門なのでまだまだ応募数が少ないのが課題です。

応募者全員に「海とさかな博士号認定証」と「ニッスイクリアファイル」贈呈!
*「研究部門」「制作部門」各賞入賞者には、賞状・盾、副賞として図書カード(5万円分)を贈呈。「壁新聞」の入賞者には図書カード(10万円分)を贈呈。
*「研究部門」「制作部門」各賞入賞者には、表彰式当日と翌日、有名テーマパーク(千葉県浦安市)へ、ご家族でご招待いたします。
*学校団体応募にて登録いただいた中から、応募作品数、ならびにその学校・団体に占める取り組みなどを審査し、事務局審査において推薦された50校・団体に、学校・団体協力賞として盾と図書カード(2万円分)を贈呈いたします。